

平成23年5月発行 少数数限定

★品切れ中でしたが、ご要望にお応えして再版しました

大正・昭和の学易家・大島中堂の秘書

『易象埋物靈崇秘伝』

佐藤六龍補筆

◆儒学ではない、理屈でもない、周易の最奥秘訣！

◆易象易卦により日常の悩みをズバリ鑑定する法！

◆種々の悩みに対処する実占上、職養道上、必須、

必携の秘書です！



定価 一一、五五〇円 (税込)

送料 前金 六〇〇円

代引 七五〇円

二 大特色

一、本書は小説よりおもしろい六龍の「註解」が特色です。

二、中村文聰より口伝を受けた平沢随貞の易卦開運まじないを公開しています。

常識・理屈とは別な世界の悩み百般を解決するための五術職養道上の易占術です。

かつての五術家はその大部分が、これらの方法を上手に活用していました。宗教やまじないなどはちがった別な世界の悩み解決法の一端です。

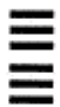
(前略) —— 前述しました広義の意の「たたり・さわり」という問題は、これらを認めるとか信じるとかの好悪は別にして、街の一般五術実占家はさけてとれない占題なのです。正統な五術上からは逸脱するかもしれませんが、悩める人を救う、迷っている人を納得させる、という人道上からは、上手に使用すればこの「たたり・さわり」は非常に活用のしがいがある職養道上の一大占術といえるのです。

最近では精神医学とか心理学の向上発展で、人間の悩み・病気・弱点などが大きくこれらの面から究明され、人を救うという点で多大な効果をあげているようです。医学者や心理学者からは非難されるかもしれませんが、精神面・心理学面の欠陥をなおすなら、この「たたり・さわり」などはもってこいの方法といえると思います。

(後略) ——

(佐藤六龍先生補筆「周易埋物靈崇・伝(原本のまま)の活用法」より)

乾 為 天



健やか

龍變化ヲ示スノ象
万物トリテ始ムルノ意

①荒神の意か？ 神殺の一
種。荒神は三玉荒神とい
つて台所の守護神。また
かげで人々を守護する
神。山岳宗教の守護神と
する。

この家は系譜ただしけれども衰微した
る家。累代の剣ありて病を生ず。乾方に
高神^①あり大木の障り。十五日の霊あり。
女は鏡大小二面あり、鏡面に疵ありて病
を生ず。婦人は再嫁の占。もし初縁なれ

見本 (一)

①神仏に対して身が汚れて
いるという事象。
男性は性交後一刻以内の
身体。女性はお産後百日
以内、毎月の生理中。
以上を不浄の身という。

〔四爻〕 窓を開けたる神の祟り。不^①浄
の身にて常に神を扱いたる咎め。女に邪
魔したる霊。
〔五爻〕 思い残して縊れ死したる者の
霊。またこの家に係る人あり、この者の
霊。
〔上爻〕 目上を慢りて口論したる霊。
これ邪魔したる故なり。

見本 (二)

【易卦註】 私事で申しわけない。小生の六龍は、この乾卦の辞の「乗六龍仰天」か
らとったもの。